

会員の広場



私のタブレット (iPad) 活用法

荒川 太 (東京)

3年前妻にiPadを買ってもらったiPadは、私の生活に不可欠なものとなっている。早朝4時、目覚めと同時に日経電子版の紙面を取り込み、記事に一通り目を通す。詳しく読みたい記事のみ新聞で読めばいい。8時半頃から勤務先近くのコーヒー屋でメールを見た

りお陰ではあるが、帰りを待つ身の辛さがわかった様な…この頃である。

iPadを利用するようになって、既存のツールへの関わりが薄くなった。一つ目は手帳を使わなくなったことである。私は3年連記の手帳にスケジュール、仕事、飲み会などの記録を書き込んでいた。iPadの中の「カレンダー」機能では、まさにカレンダーの余白に書き込むように日時、イベントを記載することが出来る。アドレスもiPadには「連絡先」という機能が備わっており、そこに名刺情報的なものを保存している。二つ目はパソコンの利用が激減したことだろうか。インターネットの閲覧は自宅でもiPadを用いている。Excelで管理している資産、負債のデータ管

ネットで株式市場を閲覧、株の売買を行ったりしている。そう言えば、最近東洋経済メールが着信するようになった。流行りのSNSではFacebookやLINEで知人、友人との交流や家族との連絡に活用している。iPadで撮った写真も簡単に送れるので、現在通っている体験農園での野菜の写真などを載せるようにしている。

15時40分過ぎると、日経電子版の夕刊が取り込める。これを見るようになってからは、漢字のクイズや最終面の連続小説を読むようになった。電子版が無ければ、縁が無かったと思う。帰宅後は、働いている妻や娘達(三女は未だ学生だが)からLINEに頻繁に連絡が入る。第2の職場で楽をさせてもらって

理だけはパソコンで作業しているが、作成後のデータはメールで送れば、iPadで見られるので、パソコンは作業用でしか無い。

最後に携帯電話、充電を忘れることが多く、使おうと思っても、電池切れで使えないことが多くなった。連絡先として家庭の電話を登録せずに携帯電話を登録するようにしているが、友人、知人にはメールでiPadに連絡してもらおうようお願いしている。携帯電話に比べiPadは文字が大きいので老眼には優しいツールである。8月に急な手術を受けたが、この時もiPadが大活躍。職場や予定していた飲み会などのイベント参加者への連絡だが、手術の翌日には、全員にメールを発信、事なきを得ることができた。

197 経済倶楽部講演録—2015.11